

歴史1 第4章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題①>

組 番 名前

◎ 次の問いに答えなさい。

(1) ①～⑥の人物とかかわりのある説明資料を下の(ア)～(カ)から選び、答えなさい。

- ①源頼朝 ②足利義政 ③北条時宗
④平清盛 ⑤足利義満 ⑥足利尊氏

(ア) 外国から軍勢が攻めてきた時、幕府の中心の立場として武士をまとめた。

(イ) 平氏を滅ぼし鎌倉に幕府を開き、武家政治を始めた。

(ウ) 南北2つに分かれていた朝廷を1つにまとめ、将軍として大きな力をふるった。

(エ) 将軍として、後つぎ争いや大名同士の対立を解決できず、十年も続く戦乱を引き起こした。

(オ) 新田義貞らと共に鎌倉幕府を倒した後、京都に幕府を開いた。

(カ) 源氏と争い、勝利して、朝廷の高い位について政治を行った。

(2) 上の①～⑥の人物を、活躍した時代の古い順に並べ、符号で答えなさい。

(3) 「金閣」を建てた室町幕府の将軍を答えなさい。

「銀閣」を建てた室町幕府の将軍を答えなさい。

(4) 鎌倉・室町時代において政治を行った代表的な人物の中で、あなたが一番好きな人物を一人あげ、選んだ理由を書きなさい。

解答欄

(1)	①源頼朝 () ②足利義政 () ③北条時宗 () ④平清盛 () ⑤足利義満 () ⑥足利尊氏 ()
(2)	() → () → () → () → () → ()
(3)	金閣 () 銀閣 ()
(4)	一番好きな人物 () ----- 理由

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題②>

組 番 名前

◎ 鎌倉時代の政治や社会の様子について、下の A～C の文をもとに、問いに答えなさい。

- A 鎌倉時代、将軍と武士たちは土地を仲立ちとした「(①) と (②)」の関係で結ばれていた。将軍が武士の領地を保護したり新たに領地を授けたりすることを (①) とい
い、武士が将軍に忠誠をちかうことを (②) という。
- B 源氏の将軍は 3 代で絶え、幕府の政治の中心は、代々 (③) の地位についていた
(④) 氏に引き継がれた。
- C 13 世紀後半、アジアを広く支配した (⑤) が、2 度にわたり、日本に攻めてきた。
武士はこれを迎え撃って戦った。この戦いを (⑥) という。

(1) ①～⑥にあてはまる言葉を答えなさい。

(2) B の文のとき、朝廷が幕府を倒そうとしました。しかし武士たちの多くは幕府のため
に朝廷軍と戦いました。それは、ある人 (女性) が武士たちの団結をうったえたこ
とによることが大きいとされています。武士たちに団結をうったえた人物の名前を答
えなさい。また、その人物はどのような立場だったのか、答えなさい。

(3) C の文に関して、攻めてきた国が負けた理由を 1 つあげなさい。

解答欄

(1)	① ()	② ()	③ ()
	④ ()	⑤ ()	⑥ ()
(2)	人物の名前 ()		立場 ()
(3)	-----		

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題③>

組 番 名前

◎ 右の年表をもとに、問いに答えなさい。

(1) 表中の a に関して、平氏がほろんだ戦いの名前を答えなさい。また、それに至る戦いで中心的な働きをした源氏の武将の名前を答えなさい。

(2) 表中の c に関して、そのすぐ後に幕府を倒す命令を出した人物の名前と朝廷軍と幕府軍が戦った事件の名前を答えなさい。

(3) 表中の d に関して、その外国の軍勢が行った、それまでの日本の軍には見られなかった戦い方を 2 つ答えなさい。

(4) 表中の e に関して、幕府を倒す命令を出した人の名前を答えなさい。また、幕府を倒した後に、その人が中心になって行った政治を何というか答えなさい。

(5) 表中の f と g に関して、この間、朝廷が 2 つに分かれていました。その時代を何というか答えなさい。

(6) 表中の h と i に関して、次の文の () の①～④にあてはまる言葉を答えなさい。

鎌倉	・平氏がほろびる・・・ a
	・鎌倉幕府が開かれる・・・ b
	・源氏が絶える・・・ c
	・外国と戦う・・・ d
室町	・鎌倉幕府がほろびる・・・ e
	・京都に幕府が開かれる・・・ f
	・朝廷が 1 つになる・・・ g
	・大きな乱が起きる・・・ h
	・室町幕府がほろびる・・・ i

h を「(①) の乱」という。この乱以降、戦乱は全国に広がった。
 この時期を (②) 時代という。この時期、実力のある者が、上の身分の者を倒して勢力を持つ (③) の風潮が広がった。各地方で、実力で 国の支配者になったものを (④) 大名という。

解答欄

(1)	戦いの名前 () の戦) 武将の名前 ()
(2)	命令を出した人 () 戦った事件の名前 ()
(3)	戦い方 () ()
(4)	人物の名前 () 政治の呼び名 ()
(5)	() 時代
(6)	① () ② ()
	③ () ④ ()

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題④>

組 番 名前

◎ 次の問いに答えなさい。

(1) 鎌倉幕府と室町幕府のおかれた場所を、右の地図中にわかるように書き入れなさい。

(2) 鎌倉幕府と室町幕府に関して、下の 2 つの文をもとに、問いに答えなさい。



「Craft Map 日本・世界の白地図」

【A】 将軍の補佐役として (ア) が置かれ、それには有力な (イ) 大名がついた。地方でも (イ) 大名の力が大きくなった。

【B】 将軍の補佐役として (ウ) が置かれ、それには代々 (エ) 氏がついた。政治機関として、政所、侍所、問注所が置かれた。地方には、国ごとに (オ) が、荘園や公領ごとに (カ) が置かれた。

- ① 室町幕府について述べているのは A, B のどちらか、答えなさい。
- ② 文中のア～カにあてはまる言葉を答えなさい。
- ③ 文中のオとカについて、それぞれどのような役割を持っていたか、述べなさい。
- ④ B の文中の「政所」「侍所」「問注所」のうち、訴訟や裁判をつかさどる機関はどれか、答えなさい。
- ⑤ 鎌倉時代に定められた、武士のための法律の名前を答えなさい。

解答欄

(1)	※地図に記入
(2)	① A, B のどちらか ()
	② ア () イ () ウ () エ () オ () カ ()
	③ オ () カ ()
	④ ()
	⑤ ()

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題⑤>

組 番 名前

◎ 次にあげる 3 人の人物に関して、問いに答えなさい。

足利義政	雪 舟	足利義満
------	-----	------

- (1) この 3 人が活躍した時代を答えなさい。
- (2) この 3 人が行った事柄を、下の (ア) ~ (エ) から選び、() に書きなさい。

- | |
|---|
| (ア) 水墨画 (墨絵) の第一人者。後の時代の絵師に大きな影響を与えた。
(イ) 銀閣を建てた。
(ウ) 東海道五十三次の浮世絵を描いた。
(エ) 金閣を建てた。 |
|---|

- (3) 下の文を読んで (ア) と (イ) にあてはまる名前を書きなさい。
 武士が京都で生活するようになるとそれまでの貴族や僧の文化に、武士らしさを取り入れた新しい文化が生まれ、地方にも広がりました。今の栃木県にある日本最古の学校を (ア) といいます。この学校は室町時代に武士たちが (イ 学) を学んだ学校です。 ※(イ 学) は、中国から伝わった学問です。

解答欄

(1)	(時代)
(2)	足利義政 () 雪 舟 () 足利義満 ()
(3)	ア () イ (学)

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題⑥>

組 番 名前

◎ 次の文化にかかわる事柄に関して、問いに答えなさい。

生け花 茶の湯

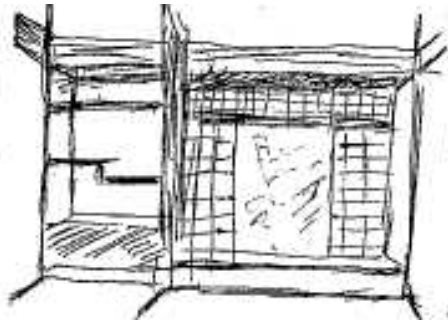
(1) これらが行われるようになった時代を答えなさい。

(2) これらと同じ時代、右の写真のような面をつけて舞う芸能が愛好されました。この芸能の名前を答えなさい。



(3) 下の絵の部屋がつけられたのも同じ時代です。この部屋のつくりを何とというか、答えなさい。

また、現代の和室のつくりは、この部屋のつくりがもとになっています。現代につながる特徴について、3つ答えなさい。



《銀閣の部屋の様子》

解答欄

(1)	(時代)	(2)	芸能の名前 ()
(3)	部屋のつくり ()		
	特徴①		
	特徴②		
	特徴③		

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題⑦>

組 番 名前

(1) 鎌倉時代の文化や宗教に関して、問いに答えなさい。

① 次の文の () のア～キにあてはまる言葉を答えなさい。

鎌倉時代になると、素朴で (ア) 感じを与える文化が生まれた。武士の活躍を描いた軍記物の (イ) は、琵琶法師によって広まった。彫刻作品では、(ウ) らによって東大寺に (エ) 像が制作された。また、鴨長明が書いた随筆の (オ) や後鳥羽上皇の命により藤原定家らが中心になって編集した (カ)、吉田兼好が書いた随筆の (キ) などの文学作品がつけられた。

(2) 鎌倉時代におこった新しい仏教について、問いに答えなさい。

① 下の表のア～オについてそれぞれの宗派を広めた僧の名前を答えなさい。

また、カ～ケについてはそれぞれ教えを a～d の記号で答えなさい。

宗 派	僧の名前	教 え
禅 宗	アとイ	カ
浄土宗	ウ	キ
日蓮宗	エ	ク
浄土真宗	オ	ケ

- a 南無阿弥陀仏と念仏を唱えれば、だれでも極楽浄土に生まれ変わる。
- b 座禅によってさとりが開かれる。
- c 南無妙法蓮華経を唱えれば、人も国家も救われる。
- d a の教えを一步進めたもの。自分の罪を自覚して改めようとする人こそ救われる。

② これらの宗派のうち、現在の千葉県の地域の出身者によって始められたものを選び答えなさい。

③ これらの宗派の中で、特に武士の気風に合ったのはどの教えか、答えなさい。

解答欄

(1)	ア () イ () ウ () エ () オ () カ () キ ()

(2)	① ア () イ () ウ () エ () オ () カ () キ () ク () ケ ()

	② 現在の千葉県の地域の出身者によって始められた宗派名 () 宗

	③ 武士の気風にあった教えの宗派名 () 宗

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題⑧>

組 番 名前

◎ 室町時代の産業や文化、人々の生活について、次の文をもとに、問いに答えなさい。

室町時代の文化は、大きく 2 つの時期において栄えた。まず、金閣に代表される (①) 文化である。公家の文化と武家の文化の融合が特色である。
次に、銀閣に代表される (②) 文化である。簡素で気品ある文化といえる。「 A 」という言葉で代表される。また、室町時代には民衆の地位が向上し、文化を楽しむようになった。

(1) 上の文の () の①, ②にあてはまる言葉を答えなさい。

(2) 文中の「 A 」にあてはまる言葉を, a ~ d から選び, 答えなさい。

a 「豪華・けんらん」 b 「しゃれ・粋」 c 「わび・さび」 d 「派手・華やか」

(3) 室町時代の産業や、民衆の生活や文化に関して、問いに答えなさい。

ア…この時代につくられた、農村の自治的な組織の名前を答えなさい。

イ…この時代には、大工や鍛冶、織物など様々な手工業や芸能などにたずさわる人々があられました。これらの「専門職」を持つ人々をなんと言いますか。
漢字 2 文字で答えなさい

ウ…この時代に、商人や手工業者たちが同業者でつくった団体の名前を言いなさい。
また、この団体に認められたのはどんな権利か、答えなさい。

解答欄

(1)	① () ② ()
(2)	「A」に当てはまる言葉は a ~ d の中の () である。
(3)	ア…() イ…() ウ…() 権利,

歴史1 第4章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <応用問題①>

組 番 名前 _____

◎ 次の問いに答えなさい。

- (1) 鎌倉幕府と室町幕府がそれぞれ幕府を置いた場所について、なぜその場所に置いたのか、その理由を朝廷との関係から、それぞれ60字以内で述べなさい。

- (2) 平氏の滅亡や鎌倉幕府の成立に関して、千葉の武士が、これらのきっかけとなる大きな役割を果たしています。それはどのようなことか、60字以内で述べなさい。

解答欄

(1) ① 【鎌倉幕府】

30

60

② 【室町幕府】

30

60

(2) 千葉の武士の果たした役割はどのようなことか

30

60

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <応用問題②>

組 番 名前

◎ 次の問いに答えなさい。

(1) 鎌倉、室町それぞれの時代の特色を説明するための事柄を答えなさい。

① 鎌倉時代は、江戸時代まで続いたが武士が支配した時代のはじまりである。中国の (ア) の大軍が二度にわたって日本に船で攻めてきたが、1 度目は元軍の内紛や暴風雨で、2 度目は御家人の活躍や海岸に築かれた (イ) の防備もあり、上陸できないまま、再度の暴風雨で失敗した。

② 室町時代は、京都の室町に幕府が置かれたので、そう呼ばれている。当時の中国は (ウ) という王朝であった。

そのころの代表的な建物は、足利義満の立てた (エ) や足利義政が立てた (オ) である。また、生活に直結する文化として (カ) によって描かれた水墨画があげられる。

(2) 平安時代までと鎌倉時代以降を比較して、権力の中心がどのように変わったのか、() の言葉を使って、100 字以内で述べなさい。

(天皇や貴族 武士 家来 反乱の鎮圧)

解答欄

(1)	① ア () イ ()
	② ウ () エ ()
	オ () カ ()
(2)	※下のマスに書きなさい。
	30
	60
	90

105

歴史1 第4章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <応用問題③>

組 番 名前

◎ 鎌倉時代の武士はどのような考え方をし、どのような日常生活を送ったかについて、領地との関係をもとに、次の言葉をすべて使って、100字以内で述べなさい。

一所懸命 戦いに備えた生活

解答欄

30
60
90

歴史1 第4章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <応用問題④>

組 番 名前

◎ 鎌倉時代に広まった仏教の特色を、平安時代までの仏教と比較しながら、【 】の言葉をすべて使って、100字以内で述べなさい。

【 天皇や貴族 武士や庶民 】

解答欄

	30 60 90

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題①・解答>

【解 答】

- (1) ① イ ② エ ③ ア
 ④ カ ⑤ ウ ⑥ オ
- (2) ④ → ① → ③ → ⑥ → ⑤ → ②
- (3) 足利義満 足利義政
- (4) 目標①～⑤までの () の人物で業績が書いてあれば○。

【解 説】

- 鎌倉・室町時代に政治の中心を担った代表的な人物を問題にしています。基本的な事項です。

歴史1 第4章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題②・解答>

【解答】

- (1) ①御恩 ②奉公 ③執権 ④北条 ⑤元 ⑥元寇
- (2) いざ鎌倉
- (3) 人物の名前・・・北条政子
人物・・・初代将軍(源頼朝)の妻
- (4) ・暴風雨
・朝鮮など元に支配された国の兵がつかわれた。
・鎌倉武士の活躍

【解説】

- 鎌倉時代、土地との結びつきを中心とした政治が行われていたことを確認する問題です。
 - ・ 将軍と武士たちとの間の「御恩と奉公」の関係が、鎌倉時代の鍵になります。

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題③・解答>

【解 答】

- (1) 【戦いの名】壇ノ浦 【武将の名前】源義経
- (2) 【命令を出した人】後鳥羽上皇 【争乱の名】承久の乱
- (3) (集団戦法), (火薬を使った火器 (てつほう) の使用)
- (4) 【人物の名前】後醍醐天皇 【政治の呼び名】建武の新政
- (5) 南北朝
- (6) ①応仁 ②戦国 ③下克上 (下剋上) ④戦国

【解 説】

- 鎌倉, 室町時代の主な出来事について関係する人物や場所, を確認する問題です。
 - ・ 年表や地図をもとに, 時代の流れのポイントを押さえながら整理して理解できるとよいでしょう。
 - ・ 政治の仕組などについては, 鎌倉幕府と室町幕府の比較や, 鎌倉幕府から室町幕府へのつながりから考えると, それぞれの時代の特徴や, 時代の流れがわかりやすくなります。
 - ・ 室町幕府の「室町」というのは, 3代将軍が京都の室町という場所に「室町殿」「花の御所」と言われた公邸を建てて政治を行ったことに由来します。また, 「幕府」は「将軍の居所」を指す言葉で, 江戸時代中期以降に「武家政権」を指す意味になってきました。ですから, 「鎌倉幕府」「室町幕府」「江戸幕府」という呼び方は, それ以降の言葉ということになります。

【解 答】

(1) 右の地図



「Craft Map 日本・世界の白地図」

- (2)
- ① A
 - ② ア 管領 イ 守護
 ウ 執権 ウ 北条
 エ 守護 カ 地頭
 - ③ オ 国内の御家人の監督や、軍事・警察の仕事
 カ 土地の管理や年貢の取り立て、警察の仕事
 - ④ 問注所
 - ⑤ 御成敗式目

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題⑤・解答>

【解 答】

(1) 室町

(2) 足利義政・・・イ 雪舟・・・ア 足利義満・・・エ

(3) ア…足利学校 イ…儒学

【解 説】

- 室町時代の文化を担った人物や文化遺産を確認する問題です。基本的な事項です。

歴史1 第4章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題⑥・解答>

【解答】

(1) 室町

(2) 能

(3) 書院造

特徴・・・床の間，違い棚，床柱，付け書院，畳，襖 などから3つ

【解説】

○ 室町時代の文化について現代との結びつきを確認する問題です。

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <基礎問題⑦・解答>

【解 答】

- (1) ア 力強い イ 平家物語 ウ 運慶 エ 金剛力士
 オ 方丈記 カ 新古今和歌集 キ 徒然草

(2) ①

禅 宗	ア・道元 イ・栄西 ※順不同	カ・b
浄土宗	ウ・法然	キ・a
日蓮宗	エ・日蓮	ク・c
浄土真宗	オ・親鸞	ケ・d

② 日蓮宗

③ 禅宗

【解 説】

- 鎌倉・室町時代の宗教や文化について、特色や担った人物について確認する問題です。
- ・ 文化の担い手や現代とのつながりを理解することが大切です。
 - ・ 鎌倉新仏教は、武士や庶民に広く信仰され、人々の生活にも根付きました。

【解 答】

- ◎ (1) ① 北山 ② 東山
(2) c
(3) ア 惣(惣村) イ 職人
 ウ 団体の名前…座 権利…営業を独占する権利

【解 説】

- 鎌倉・室町時代の宗教や文化について、特色や担った人物について確認する問題です。
- ・ 文化の担い手や現代とのつながりを理解することが大切です。
 - ・ 鎌倉新仏教は、武士や庶民に広く信仰され、人々の生活にも根付きました。
- 2 (3) は、室町時代の庶民の生活に関する問題です。
- ・ この時代、諸産業が発展し、庶民の生活も向上しました。都市では職人層や商業発展が見られ、農村でも自治的な組織がつくられてきました。生活の中で楽しみを見出し、庶民文化もおこってきました。庶民の力も高まってきて、一揆などにより支配者に対抗することも行われるようになってきました。

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <応用問題①・解答>

【解答】

(1) ① 【鎌倉幕府】

京都の朝廷からの影響を受けないで、自分の強い勢力下で武士中心の政治を行うため、京都から遠く離れた関東の鎌倉に幕府を置いた。
(60字)

② 【室町幕府】

室町幕府の権威を高めるために京都の朝廷を積極的に利用し、対立する勢力を押さえつけるために、京都に幕府を置いた。(55字)

(2) 平家との戦いに負けて、関東に逃げてきた源頼朝にいち早く味方して、関東の武士が源頼朝のもとにまとまる中心的役割を果たした。
(60字)

【解説】

○(1)は、鎌倉・室町の幕府について、朝廷との関係を比較する問題です。両幕府の置かれた場所の違いは、為政者の強い意図と当時の社会背景によるものです。

- ・ 鎌倉幕府は、それまでの天皇・貴族社会から武家社会への変革を意図するものでした。今までと同じでは旧勢力に取り込まれる恐れがあること、東国は源頼朝の強い勢力下にある地域であることから考えましょう。

○(2)は、源頼朝と千葉県域の豪族(武士たち)との関係を問う問題です。源頼朝を支える武士団の中で、千葉氏を代表とする千葉県域の武士たちは、大きな存在でした。

- ・ 源頼朝は平家打倒の兵をあげましたが、石橋山の戦で負け、命からがら逃げて房総半島(安房国)にたどり着きました。そしてまず、房総各地の豪族(武士団の頭)に、味方につくように呼びかけながら、房総半島を北上しました。これに応じて集まった武士たちがきっかけになり、関東各地の武士たちが源頼朝の下に集まってきたのです。千葉常胤(ちばつねたね)はその代表で、源頼朝に深く信頼されました。以降、千葉氏一族は千葉県域に大きな支配力を持つようになりました。
- ・ なお、東国の武士たちがすべて源頼朝に味方をしたわけではありません。安房国に逃げて来た源頼朝を討とうとする武士もいました。
- ・ 千葉県各地には、源頼朝にかかわる伝説や史跡が残っています。仁右衛門島、各地の「白幡(白旗)」の地名や神社の分布、九十九里浜、鎌倉道など、その範囲はかなり広いものです。

【採点基準】

採点の基準
(文字数)・50字～60字で、配点どおりに与える。 <ul style="list-style-type: none">・40字～49字で、配点の8割程度与える。・40字未満は、点を与えない。
(内容)・模範解答に近い内容で、下線のような言葉を使っていれば点を与える。

【解 答】

- (1) ① ア 元 イ 石罫
 ② ウ 明 エ 金閣 オ 銀閣 カ 雪舟

- (2) 平安時代までは、天皇や貴族が権力をにぎり国を動かし、武士はその家来であった。しかし、各地の反乱の鎮圧や平氏の政治や源平の争いを経て、武士が自分の力を自覚し、鎌倉時代以降は国を動かす権力の中心となった。 (100字)

【解 説】

- 平安時代までと比べ、鎌倉時代の特色について説明する問題です。
- ・ 時代の大きな変化について読み取り、まとめることなどが大切です。ポイントは、平安時代までは誰が権力を持っていたか、それが鎌倉時代になってどう変わったかについて、「天皇や貴族」と「武士」との関係から整理できているか、です。
 - ・ 「武士」はもともと「侍う(さぶらう)者」という位置付けとされています。これは「身分の高い人に従う」存在でした。つまり、当時の高い身分である天皇や貴族の「家来」のような立場だったのです。それが、保元の乱や平治の乱などを経て平氏が高位につくようになって、少しずつ関係が変わってきたのです。

【採点基準】

番号	採 点 の 基 準
(2)	(文字数) ・ 90字～100字で、配点どおりに与える。 ・ 70字～89字で、配点の8割程度与える。 ・ 70字未満は、点を与えない。 (内容) ・ 模範解答に近い内容ですべてのキーワード(「天皇や貴族」「武士」「家来」「反乱の鎮圧」)が含まれていれば点を与える。

【解 答】

◎名誉を重んじ、「一所懸命」という言葉で表されるように、領地を確保し、守るために命もかけた。一族が団結し、常に弓矢や馬などの武芸の修練をし、館も堀や堀、やぐらなどを備えるなど、戦に備えた生活をしていた。
(100字)

【解 説】

- 鎌倉時代の武士の生活について、言葉で説明する問題です。
- ・ 「一所懸命」とは、「1つの所(土地)に命をかける」という意味の言葉で、当時の武士の考え方を端的に表しています。武士は、自分の領地を守るために、日常から武芸を鍛錬し、戦いに備えていました。将軍との間の「ご恩と奉公」の関係における「ご恩」の中心は、「武士がその土地を所有することに将軍がお墨付きをつけて認める」ことでした。

採 点 の 基 準
(文字数) <ul style="list-style-type: none">・ 90字～100字で、配点どおりに与える。・ 70字～89字で、配点の8割程度与える。・ 70字未満は、点を与えない。 (内容) <ul style="list-style-type: none">・ 模範解答に近い内容ですべてのキーワード(「一所懸命」「戦いに備えた生活」)が含まれていれば点を与える。

歴史 1 第 4 章 中世の日本 (1) 武士の政権の成立 <応用問題④・解答>

【解 答】

◎平安時代までの仏教は、国や支配階級である天皇や貴族のためのもので、難
解であった。鎌倉時代に起こった新仏教は、武士や庶民に対して広く教え
を説き、わかりやすく実践しやすかったために、人々に受け入れられた。

(100字)

【解 説】

○ 鎌倉時代に起こった仏教の特色について、自分の言葉でまとめる問題で
す。

- ・ 平安時代までの仏教は、国家のため、天皇や貴族などの権力を持った
支配者のための仏教が中心でした。平安時代後期に起こった浄土信仰が
庶民の間にも広がりました。そして、鎌倉時代の新仏教各派により、武
士や庶民のための仏教信仰が一気に広がりました。庶民にとっては「わ
かりやすい」「実践しやすい」ことが大きな魅力でした。

採 点 の 基 準
(文字数) ・ 90字～100字で、配点どおりに与える。 ・ 70字～84字で、配点の8割程度与える。 ・ 70字未満は、点を与えない。 (内容) ・ 模範解答に近い内容ですべてのキーワード(「天皇や貴族」「武士や庶民」)が含 まれていれば点を与える。